

2026年4月1日
株式会社新日本科学
<https://snbl.com>

(証券コード：2395 東証プライム)

新日本科学イナリサーチセンターに 再生可能エネルギー100%の電気を導入 ～年間のCO₂排出削減量は約1,700トン～

株式会社新日本科学（本店：鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長：永田良一、以下「当社」）は、2026年4月1日より、当社連結子会社である株式会社新日本科学イナリサーチセンターにおいて、購入電力を実質再生可能エネルギー100%^(※1)の電気（以下、「再エネ電気」）へ切り替えます。再エネ電気は、伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田畑信幸）より調達いたします。

当社は脱炭素に向けた取組みを推進しており、2034年度までに自社の事業活動で使用する電力の100%を実質再生可能エネルギー化することを目指しています。

今回の切り替えにより、新日本科学イナリサーチセンターでは年間約1,700トンのCO₂排出削減を見込んでいます。これは、一般家庭約690世帯分^(※2)の年間CO₂排出量に相当します。

当社は、「環境、生命、人材を大切に作る会社であり続ける」と掲げた企業理念、「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」というスローガンのもと、企業の持続的成長にはサステナビリティの推進が重要であることを認識し、経済的利益と社会的利益を一体として創出してまいります。

*1：非化石証書（トラッキング付）を活用し、電力使用に伴う環境価値を再生可能エネルギー由来のものとすることで、実質的に再生可能エネルギー100%を実現するものです。

*2：1世帯当たり年間2.47t-CO₂で試算しています。

[出典]環境省「令和5年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査資料編（確報値）」より。

以上

【本件に関するお問い合わせ】
(株)新日本科学 IR 広報統括部
TEL: 03-5565-6216
E-mail: ir@snbl.com